

つくろう あそぼう くふうしよう

教科書出版社名（生活科 啓林館）（国語科 光村図書）

○ 小学校（2）年 教科等（生活・国語）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

- ・1年生に渡したいおもちゃを作るために必要な本を学校図書館から見つけ出すことができる。
- ・おもちゃ作りの本を読み、作りたいと思うおもちゃの情報を見つけ、おもちゃの設計図が描ける。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・どんなものを作るのか児童がイメージできるようにおもちゃ作りの本（『カンタン！スグできる！製作あそび』）をもとに見本となるおもちゃを作っておく。
- ・図鑑には「もくじ」と「さくいん」があることを学習して、自分の知りたいことを調べる方法を知る。
- ・一人ひとりが自分の作りたいおもちゃを選べるように、公立図書館から関係する本の団体貸出をしておく。

○ 学習の展開（全12時間）

第1次 生活科・国語科	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃ作りの見通しを持つ。 ・おもちゃの作り方の本を見つける。その本を読み、おもちゃ作りに対する意欲を高め、必要な材料を集める。（段ボール、ペットボトル、牛乳パックなど）
第2次 生活科	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の作りたいおもちゃの設計図を描く。 ・設計図をもとに、おもちゃ作りを行う。 ・自分で作ったおもちゃで遊んだ後に友だちの作ったおもちゃでも遊ぶ。 ・1年生に楽しく遊んでもらえるように、自分のおもちゃの機能が高まるように改良していく。
第3次 国語科	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文「『おもちゃの作り方』を書こう」を読み、おもちゃの作り方や遊び方を聞く人が分かりやすいように説明書を作ることを理解する。 ・以前学んだ説明のコツを復習し、おもちゃの説明書を書く。（「表紙」「材料と道具」「遊び方」） ・おもちゃの説明書の作り方に必要な絵を3枚～4枚考えて描く。 ・おもちゃの作り方を説明する文を書く。 ・1年生に遊び方やルールを教えながら、楽しく遊ぶ。

第4次 生活科・国語科	・1年生とおもちゃで遊んだときのことを振り返り、自分の成長や友だちのよさに気づき、今後の生活で、どのように生かせるか考える。
----------------	--

【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・目次と索引の使い方を学習したことで、スムーズに自分の知りたい情報を探す児童が見られた。 ・たくさん本を用意したことで、様々な種類のおもちゃを作成することができた。
② 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の選んだ本から、必要な情報だけを抜き出したり、ポイントを絞って書いたりすることが難しかった。
③ 児童の感想・ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生が楽しく遊んでくれて、うれしかったです。 ・作りたいおもちゃがたくさんあり、一つになかなかしぼれなかったです。 ・たくさん本があったので、うれしかったです。 ・1年生がよるこんでくれるおもちゃを本でさがすことがたのしかったです。 ・作り方の絵をかくのはむずかしかったです。

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の本の冊数だけでは不十分だったので、地域の図書館からも借りて、一人一冊用意することができた。 ・1年生に遊んでもらうという設定が嬉しくて、意欲的に取り組む児童が多かった。 ・おもちゃの改良についてアドバイスができるように教室に本を配置した。
--